



# 一般社団法人遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム 年次報告書 2022

## 《目次》

1. コンソーシアムについて
  - 組織概要
  - 活動目標
  - 活動内容
  
2. 2022 年の活動成果
  - 活動目標
  - 主要な活動成果
  
3. 2023 年の活動目標
  - 活動目標
  - 主要な活動内容およびロードマップ
  
4. 財務状況
  - 決算報告書



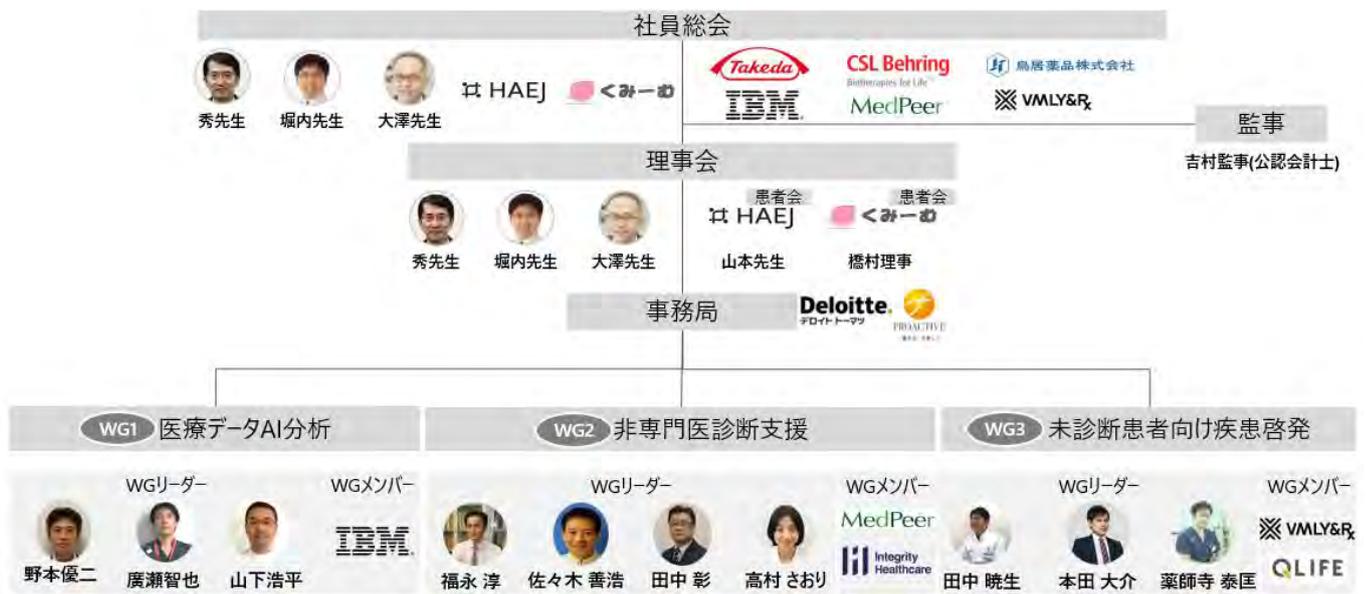
## 「本編」

### 1. コンソーシアムについて

#### ● 組織概要

当法人は、医師\*、患者団体、IT 企業、製薬企業などの多様なステークホルダーが協業し、HAE の早期診断・診断率向上のため、業界横断で取り組んでいます。

\* 図中写真が医師です。各医師の所属は[当会公式 HP](#)をご確認ください



#### ● 活動目標

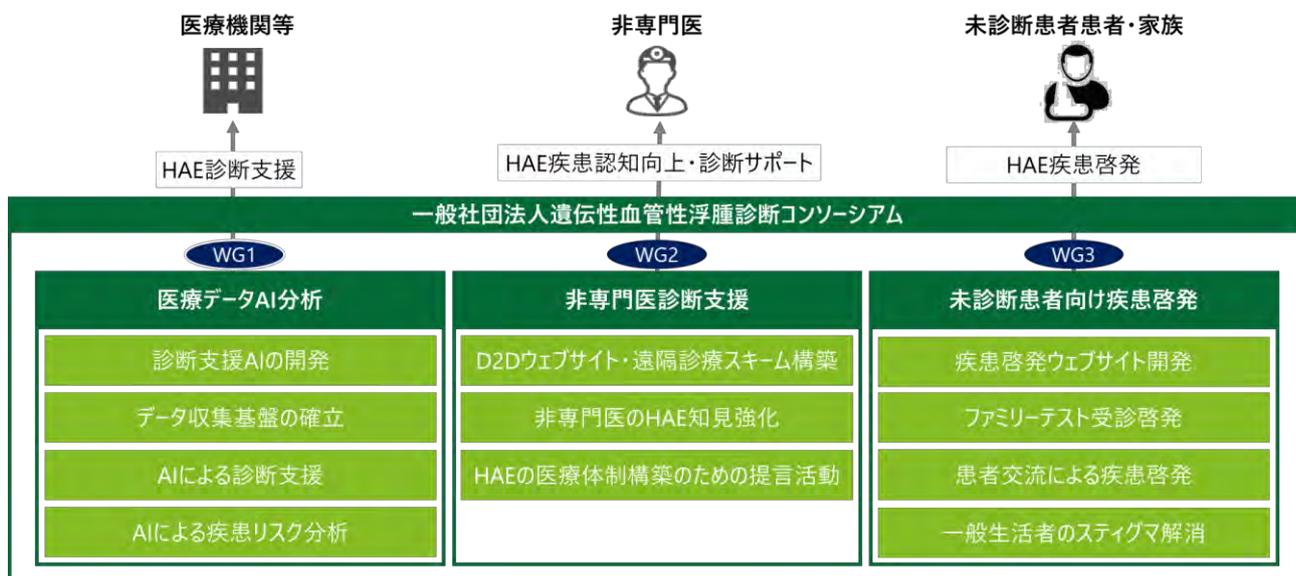
当法人は 2021 年～2025 年の 5 年間で、HAE 早期診断・診断率向上の効果を創出することを目標にしております。1 年目では推進体制を構築しソリューションを開発、2 年目以降に施策の規模拡大と定常的な施策運用を予定しています。





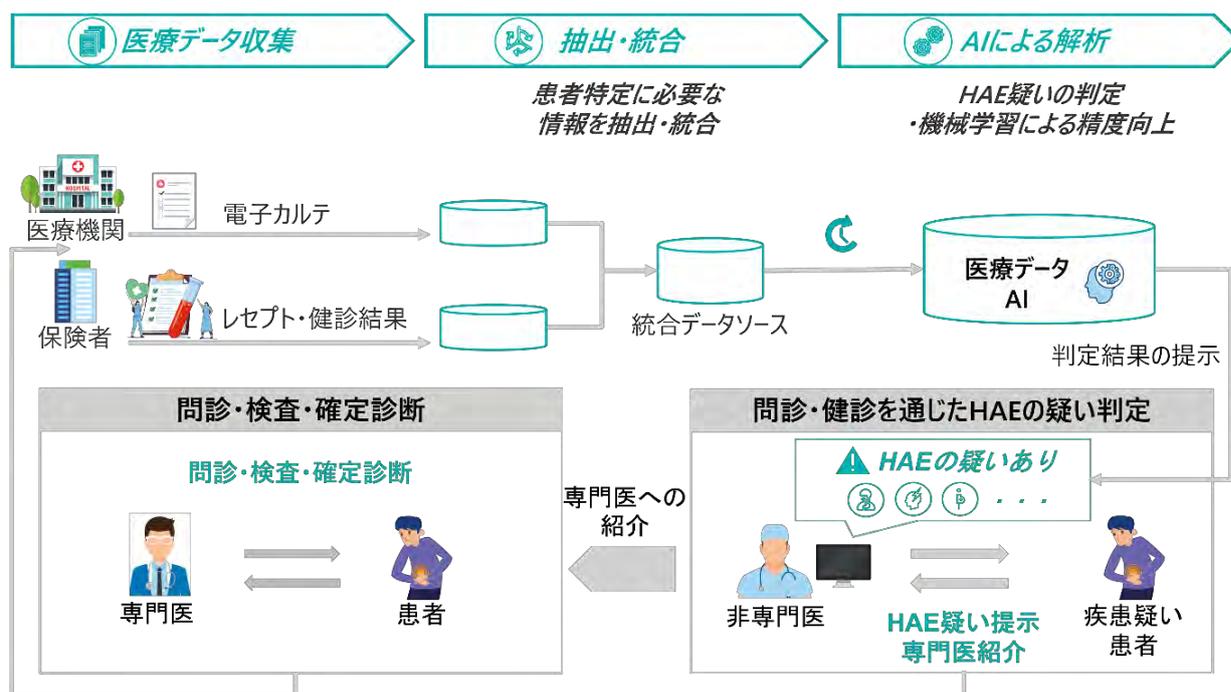
## ● 活動内容

HAEは希少疾患がゆえに、医師や患者の疾患認知の低さによる診断の遅れが大きな課題です。当法人では、課題に対して3つのワーキンググループ(WG)を通じてHAEの早期診断・診断率向上を目指しています。



### 《WG1 医療データ AI 分析》

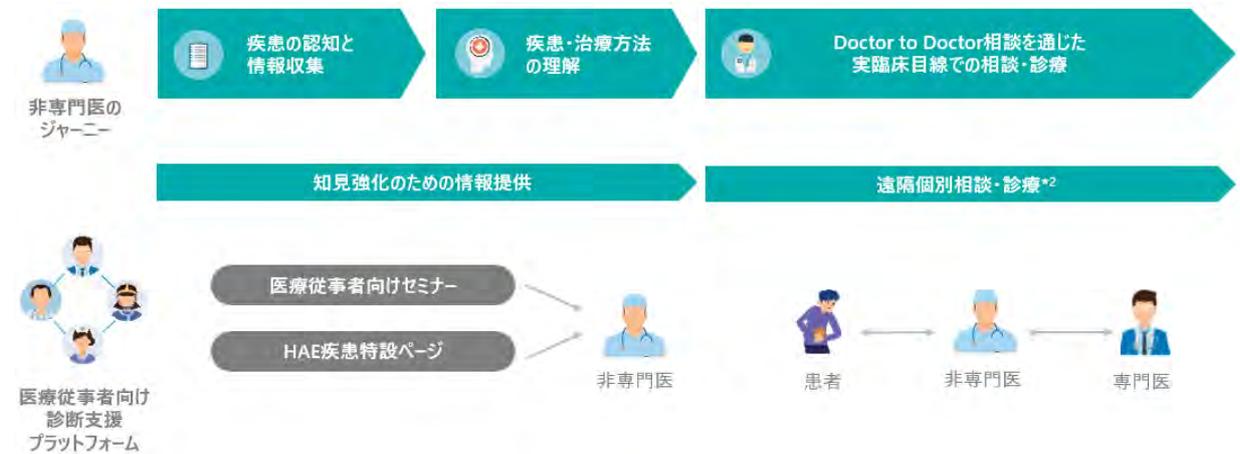
WG1 では、医療ビッグデータを活用し、電子カルテやレセプトなどを基に、HAE 患者さんを判別するための診断支援人工知能(以下、「AI」)を構築します。そしてその AI を活用して日常診療での「HAE」の見落としを減らしたり、レセプトデータなどのビッグデータから疑い患者を見つけ出して専門医療機関の受診を促すような仕組みを構築することで、未診断患者の減少を目指します。





### 《WG2 非専門医\*1診断支援》

WG2 では、医療従事者向けに医師ウェブコミュニティ内への HAE 特設ページ開設や、医学会でセミナーを行うことで HAE の知見を提供するほか、遠隔相談システムを活用し、医療従事者が HAE に詳しい医師に相談できる仕組みを構築することで、医師の早期かつ適切な診断を促進します。

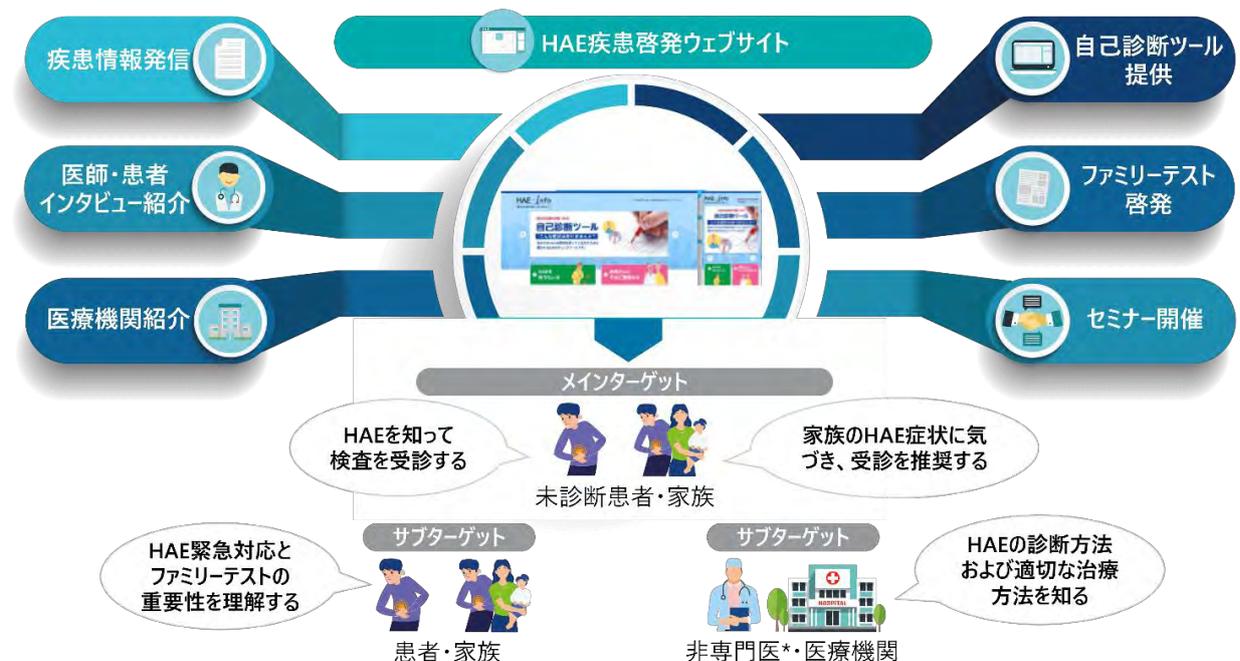


\*1 日本専門医制評価・認定機構が認定する専門医ではなく、HAE 領域の診療・患者支援に長年尽力されている医師を指します

\*2 インテグリティ・ヘルスケア社の YaDoc Quick を使った相談を実現します

### 《WG3 未診断患者向け疾患啓発》

WG3 では、Web サイトを通じて、ご自身が「HAE かもしれない」と気づいていただくための情報を提供すると同時に、患者さんのご家族も検査を受けることの重要性をお伝えします。それによって患者さんやご家族が、安心して医療機関を受診していただくことを目標にしています。





## 2. 2022 年の活動成果

### ● 活動目標

2022 年は法人広報に尽力するとともに、これまでに準備を行った施策の展開・社会実装を推進することを目標にしておりました。また、WG1 では AI の社会実装を、WG2 では MedPeer 内の疾患特設ページの公開、遠隔相談の社会実装、医学会での認知向上施策を、WG3 では疾患啓発サイトの公開を通して一定規模の医療従事者・未診断患者の HAE 認知向上も目標として掲げておりました。



### ● 主要な活動成果

各 WG に、医療業界においてデジタルソリューションの開発・展開で経験豊富な、日本アイ・ビー・エム株式会社(以下、「IBM 社」)、株式会社インテグリティ・ヘルスケア、メドピア株式会社およびサドラー・ジャパン株式会社の 4 社に参画いただいております。各施策の準備・検証を行ったほか、法人運営では広報活動に注力しました。

各 WG に参画いただいている IT 企業とともに、WG1 では AI モデル構築および検証試験への着手、WG2 では医師同士の遠隔相談システムの社会実装、MedPeer 内の疾患特設ページの公開、WG3 では一般向け疾患啓発サイト開設を完了させました。法人としては、医療総合メディア QLife に新規に参画いただきました。また、TV メディア出演を通して HAE の情報発信に注力しました。

### 《法人運営》

- HAE 患者定点観測のため NDB 申請を完了しました。
- 医療総合メディア QLife に協力会員として参画いただきました。
- TV メディアとしてフジテレビ、NHK からの取材を実現しました。また、WG2 遠隔相談に関してインテグリティ・ヘルスケア社と共同でプレスリリースを発出し、34 のメディアで掲載されました。



掲載メディア一例



「DISCOVERY × YaDoc Quick」遺伝性血管性浮腫 (HAE) を対象とした医師・歯科医師向け、無料サービス「Doctor to Doctor遠隔相談」の社会実装を開始



フジテレビの報道番組「Live News α」(2022.5.16 放送)

- 患者会くみーむ様経由で、日本外来小児科学会で DISCOVERY 紹介ポスターを掲示しました。
- 埼玉医科大学総合医療センターの高村先生に WG2 へご加入いただきました。
- 患者目線の施策をより取り入れるため、HAEJ 副理事に WG3 会議へ参加いただきました。

「WG1 医療データ AI 分析」

- IBM 社との協業により、米国 LCED データを購入し、診断コードから HAE リスクを推定する AI モデルの構築が完了しました。
- レセプト解析事業者 PREVENT 社とのパイロット検証を実施しました。特定の大学病院におけるパイロット検証に関して、後日プレスリリースを発出する予定です。
- IBM 電子カルテ導入病院のヘルスケアデジタルサービスプラットフォームとの連携を進めている。

「WG2 非専門医診断支援」

- MedPeer 疾患特設ページを 2022 年 3 月から 9 月末まで開設し、MedPeer での平均を上回る毎月平均 48,860 回の訪問数を獲得しました。10 月以降は、当法人の公式 HP 内に「[医療従事者向けページ](#)」を開設し、医療従事者向けの情報発信を開始しております。



医療従事者向けページ

**HAE関連記事**



**記事**  
正しい診断を導くためのポイント～診断までに30年以上かかった症例～



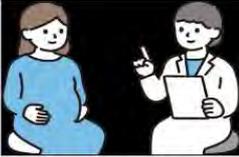
**記事**  
確実な診断のためのポイント～皮膚と頭部～



**記事**  
確実な診断のためのポイント～腹部～



**記事**  
HAEの検査と治療



**記事**  
HAEの患者さんの他疾患の診断時の注意



**記事**  
HAE治療薬の現時点での考察



**動画**  
希少疾患だが重要な疾患：遺伝性血管性浮腫(HAE)総論とHAE診断コンソーシアムについて  
(大原医科大学 皮膚科学 准教授 福永淳 第31回有病者歯科医療学会にて発表)

- 福島県医師会会報誌と、医学雑誌「消化器内科」「歯界展望」に、記事を掲載いただきました。
- 岩手、秋田、福島の各県医師会との調整の上、ポスター掲示にご協力いただきました。
- 関連学会での施策として、4月に日本有病者歯科医療学会にてWG2リーダーの福永淳先生、田中彰先生にご講演いただきました。また、疾患啓発ポスターを作成し、10学会で掲示しました。

WG2 協業交渉結果



	団体名/誌名	内容
医師会	岩手県医師会	ポスター掲示
	秋田県医師会	ポスター掲示
	福島県医師会	ポスター掲示 会員向け会報誌への記事掲載
専門誌	消化器内科	記事掲載
	歯界展望	記事掲載
学会	日本小児皮膚科学会	ポスター掲示
	日本産科婦人科学会	ポスター掲示
	日本補体学会	ポスター掲示
	日本口腔内科学会	ポスター掲示
	日本アレルギー学会	ポスター掲示
	日本消化器関連学会機構	ポスター掲示
	日本皮膚科学会中部支部	ポスター掲示
	日本口腔外科学会	ポスター掲示
	日本皮膚科学会東京支部	ポスター掲示
	日本皮膚免疫アレルギー学会	ポスター掲示



- 医師同士の遠隔相談に関して、小規模での社会実装を開始し、2022年6月から3件実施することができました。遠隔相談には株式会社インテグリティ・ヘルスケアのオンライン診療システム「YaDoc Quick」を活用しました。遠隔相談を利用した非専門医からは、「次に行うべき検査が明確になった」「治療方針が明確になった」「患者さんの紹介先医療機関の見当がついた」などの感想が寄せられました。

医師同士の遠隔相談

■ HAEの診断・治療に関する専門医と非専門医を繋ぐ遠隔相談プラットフォーム  
 ■ 30分間の無料相談サービスを提供

**非専門医**

- HAE診断のポイント・検査方法を相談したい
- HAEの治療方針を相談したい
- HAEを診察・治療できる医療機関を知りたい
- 補体検査項目・業者を教えてください

Webを用いた遠隔相談

**専門医**

- 大阪医科大学病院 皮膚科  
福永淳先生
- 埼玉医科大学総合医療センター皮膚科  
高村さおり先生
- 国立病院機構 災害医療センター 消化器内科  
佐々木善浩先生
- 日本歯科大学新潟生命歯学部口腔外科学講座  
田中彰先生

«WG3 未診断患者向け疾患啓発»

- サドラー・ジャパン株式会社(以下「サドラー社」)ご協力のもと、「[一般向け疾患啓発 Web サイト](#)

一般向け疾患啓発 Web サイト

HAE-infoは、HAE (遺伝性血管性浮腫) の症状や治療など、HAEについて詳しく知りたい方や、患者さん・ご家族に向けて知識をわかりやすくご紹介しています。

- 1 医師・患者家族メッセージ
- 2 よくある質問
- 3 医療者助成制度

**HAEとは**

- 遺伝性血管性浮腫(Hereditary Angioedema: HAE)とは
- HAEの発症 発症時の年齢、発症までの経過
- HAEの症状
- 発症の経緯
- HAEの原因(遺伝)とタイプ(タイプ1)
- HAEの診断
- HAEの診断と検査

**HAEの治療**

- HAEの診断
- HAEの診断後の対応
- 医療者助成制度
- 患者さん・ご家族が利用できる医療者助成制度についてご紹介します。
- 小児慢性特定疾病医療費助成制度

ト」を 2022 年 3 月に開設し、最大訪問数 25,836/月を獲得しました。

- 養護教諭向けの疾患啓発としてチラシを作成し、関連する 3 団体(養護教諭研究フォーラム、全国保健師長会、全国養護教諭連絡協議会)より掲載に同意いただきました。下記のチラシは[こちら](#)から無料でダウンロードできますので是非ご活用ください。また、養護教諭が多く参加する第 68 回日本学校保健学会で演題発表を行いました。

養護教諭向け疾患啓発チラシ



- DISCOVERY のビジョンや考え方に賛同いただいた一般向けの医療メディアおよびヘルスケアアプリより記事の掲載に承諾いただき、下記記事の掲載が行われ、または行われる予定です。

WG3 協業交渉結果

媒体	企業名「媒体名」	内容
医療一般 メディア	SPLENDID 「Medicommi」	医療大辞典への掲載 コラムの掲載
	SUNSTAR 「Club Sunstar」	コラムの掲載
ヘルスケアアプリ	NTTドコエ 「dヘルスケア」	コラムの掲載



**医療大辞典への記事掲載**

**遺伝性血管性浮腫 (HAE : エイチエーイー)** 2022/12/15

記事監修医師  
 広島大学病院皮膚科 教授  
**田中 暁生 先生**

LINEで送る | いいね! | ツイート

---

**概要**

HAEは、遺伝子の変異が原因で体のいたるところに持続する腫れやむくみ（血管性浮腫という）を繰り返す疾患です。非常に稀な疾患で発症率は5万人に1人といわれています。個人差がありますが、10歳から20歳代に初めて発症することが多いことが知られています。

**症状**

HAEの症状の多くは皮膚と消化管に起こります。皮膚（手足、顔面、腹部など）が腫れた場合は一見すると「じんま疹」に似ていますが、かゆみを伴わないのが特徴です。頻度としては低いものの、咽喉浮腫は窒息死をもたらす危険性があるので注意が必要です。精神的ストレス、外傷や抜歯、過労などの肉体的ストレス、妊娠や生理、薬物などが発作の引き金となることが知られています。多くの場合、症状は通常24時間で最大となり数日で消失します。

**「Medicommi」へのコラム掲載**

**繰り返す原因不明の顔や手足の腫れ・むくみ…… 遺伝性血管性浮腫かもしれません** 2022/12/20

記事監修医師  
 広島大学病院皮膚科 教授  
**田中 暁生 先生**

遺伝性血管性浮腫 (Hereditary angioedema : HAE) という病気をご存知ですか。患者数が少なく、あまり知られていない病気の一つです。そのため、繰り返すむくみや腫れがあっても診断されるまでに多くの時間が費やされ、適切な治療を受けることができずにHAE患者が苦しむことが少なくありません。正しい診断なくしては治療も始まりません。HAEという病気を知り、心当たりがある人は受診するようにしてください。

**「dヘルスケア」へのコラム掲載**

2023.01.25 冷え・むくみ

この記事をお友達にシェアする  
 シェアする | ツイート | LINEで送る

**繰り返す原因不明の顔や手足の腫れ・腹痛…… 遺伝性血管性浮腫かもしれません**

遺伝性血管性浮腫 (Hereditary angioedema : HAE) という病気を ご存知ですか。患者数が少なく、あまり知られていない病気の一つです。そのため、診断されるまでに多くの時間が費やされ、適切な治療を受けることができずにHAE患者が苦しむことが少なくありません。今回はHAEという病気について解説します。

**HAEってどんな病気ですか？**

遺伝性血管性浮腫 (HAE) は遺伝子の変異が原因で体のいたる所に腫れやむくみを繰り返す病気です。主にC1インヒビターと

記事監修医師：広島大学病院皮膚科 教授 **田中 暁生先生**

2000年広島大学医学部卒業。2005年に同博士課程を修了し、同大学院皮膚科にて、かゆみが起こるメカニズムについて研究を行う。  
 アトピー性皮膚炎の診療では、患者さんへの適切な外用の方法や日常生活の工夫についてアドバイスを行い、日常生活で困っている多くの患者さんを救っている。  
 体のいたる所に腫れやむくみを繰り返す「遺伝性血管性浮腫 (HAE)」の早期発見を目指し疾患啓発を行う「一般社団法人遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム (DISCOVERY)」に所属し、未診断患者向けの疾患啓発を行うワーキンググループの統括リーダーとしてメディア活動を多数行っている。

➤ HAE Day に合わせて NPO 法人 HAEJ と共同でファミリーテスト啓発に関する HAE Day 特別 Web セミナーを実施しました。

**HAE Day 特別 Web セミナー**

**DISCOVERY × HAEJ 患者会 共同 HAE Day 特別セミナー**  
**みんなで考える HAE**

**参加無料**

日程 **2022年 5月15日 (日)**  
 時間 **11:00~12:00 (途中参加・退室OK)**  
 会場 **Zoom (オンラインセミナー)**

**プログラム・講師**

- ・HAEってどんな病気？
- ・検査を受けるメリット & 検査を受けないリスク
- ・Q&A コーナー

野本 優子 (新井市医師会 健康ケア内科) | 山本ペリニア (NPO法人 HAEJ 代表)

このようなキモンお持ちの方は是非ご参加ください！



### 3. 2023 年の活動目標

#### ● 活動目標

2023 年は、各 WG 施策の社会実装を加速させ、各施策の成果を定量化します。WG1 では AI の社会実装を推進するとともに目標値の設定を行います。WG2 では遠隔相談の社会実装の円滑な運営を目指すとともに、関連学会への広報などを通してサービス利用者数の増大を図ります。WG3 では疾患啓発サイトのコンテンツの充実および必要な未診断患者さんに情報が届くよう検索上位表示を目指し、SEO 対策や Web 広告を実施します。また、疾患認知率と診断率向上に向けて、WG を横断した施策を各 WG リーダーと検討します。



#### ● 主要な活動内容およびロードマップ

##### 《法人運営》

- NDB のデータによる定点観測を開始し、診断患者数の把握を試みます。
- Rare Disease Day へのスポンサー共催を行い HAE の疾患啓発活動を行います。
- 疾患啓発を行う団体や企業へお声掛けを行い、疾患認知度向上と施策の拡大を目指します。
- 法人活動、疾患啓発に関する取り組み、各 WG での活動を、公式 HP や SNS、また外部メディアを通じて積極的に発信します。

##### 《WG1 医療データ AI 分析》

- WG リーダー医師と IBM 社協力の下、2 月以降、AI モデルの社会実装を推進します。
- AI モデルの社会実装と並行して学会発表、論文公表を行います。
- AI モデル社会実装先との調整目途が立つ 3 月(予定)を目安に全体スケジュールを更新するとともに、目標値の再設定を行います。



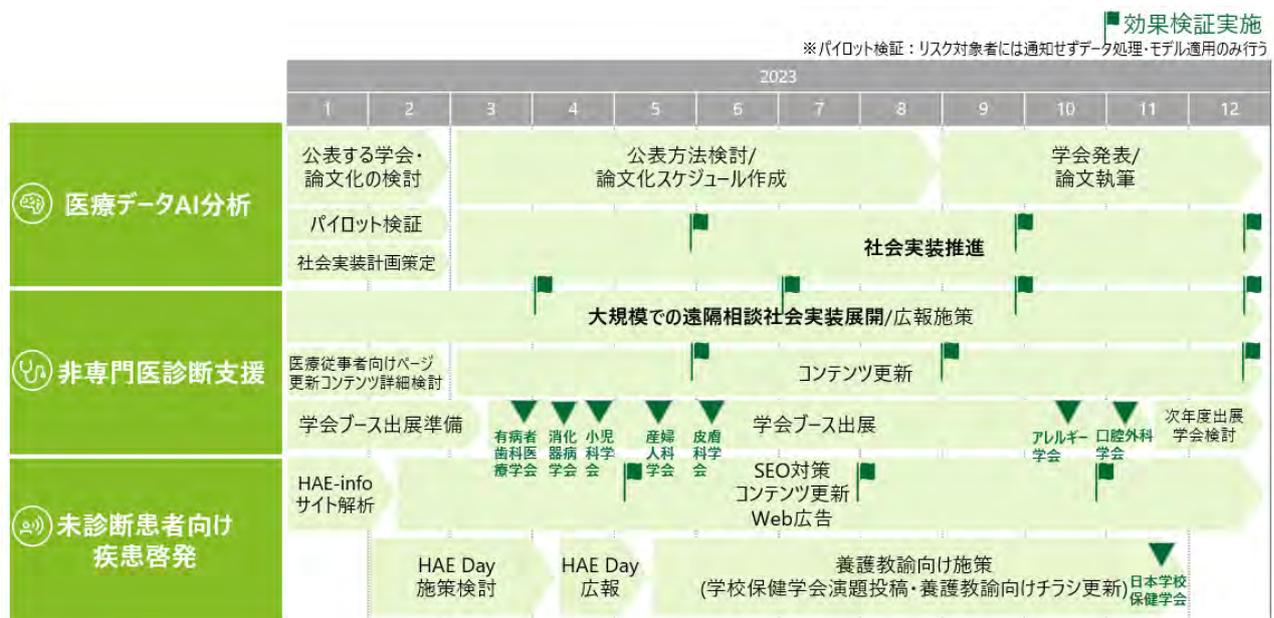
### 「WG2 非専門医診断支援」

- HAE 認知の必要性が高い日本消化器病学会、日本有病者歯科医療学会、日本産婦人科学会、日本アレルギー学会、日本皮膚科学会でブース出展を検討しています。
- 遠隔相談の社会実装の効果検証を定期的に行い、広報の拡大、申込サイトの改修、専門医の増員などを検証し、円滑な運営を行います。
- 医療従事者向けページ内の Web コンテンツを増やすなどによりサイト充実化を図り、訪問数増加を目指します。
- 遠隔相談の広報や学会ブース出展時に配布する資料に、流入追跡が可能な二次元コードを記載し、実際の効果を定量化して計測します。

### 「WG3 未診断患者向け疾患啓発」

- 疾患啓発 Web サイトの検索順位を上げるために、SEO 対策、適切なターゲティング広告を実施します。
- DISCOVERY のビジョンに賛同いただける企業との協業を更に推進します。
- 患者会との連携を密にし、HAE Day に向けた施策を検討・実行します。
- 2022 年度に引き続き、養護教諭・学校現場に向けた疾患啓発を実施します。

## 2023 年度ロードマップ





## 4. 財務状況

# 2022年度決算報告書

自 2022年 1月 1日

至 2022年12月31日

一般社団法人 遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム



## 貸借対照表

2022年 12月31日現在

一般社団法人 遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	266,762,329	415,032,149	△ 148,269,820
流動資産合計	266,762,329	415,032,149	△ 148,269,820
2. 固定資産			
ソフトウェア	77,308,634	3,709,499	73,599,135
固定資産合計	77,308,634	3,709,499	73,599,135
資産合計	344,070,963	418,741,648	△ 74,670,685
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,210,814	42,389,388	△ 39,178,574
預り金	32,400	0	32,400
未払法人税等	52,500	58,200	△ 5,700
流動負債合計	3,295,714	42,447,588	△ 39,151,874
負債合計	3,295,714	42,447,588	△ 39,151,874
III 正味財産の部			
1. 基金	400,000,000	400,000,000	0
2. 一般正味財産	△ 59,224,751	△ 23,705,940	△ 35,518,811
正味財産の部合計	340,775,249	376,294,060	△ 35,518,811
負債及び正味財産合計	344,070,963	418,741,648	△ 74,670,685



## 正味財産増減計算書

2022年 1月 1日から2022年 12月31日まで

一般社団法人 遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	40,000,000	81,000,000	△ 41,000,000
受取寄付金	40,000,000	81,000,000	△ 41,000,000
雑収益	3,226	3,375	△ 149
受取利息	3,035	3,375	△ 340
雑収益	191	0	191
経常収益計	40,003,226	81,003,375	△ 41,000,149
(2) 経常費用			
事業費	31,496,184	43,070,644	△ 11,574,460
委託費	24,868,118	42,946,200	△ 18,078,082
旅費交通費	77,900	0	77,900
通信運搬費	53,922	6,458	47,464
ソフトウェア減価償却費	1,965,197	49,546	1,915,651
印刷製本費	115,867	0	115,867
広告宣伝費	4,414,890	67,650	4,347,240
雑費	290	790	△ 500
管理費	43,955,853	61,580,471	△ 17,624,618
役員報酬	587,300	0	587,300
給料手当	2,245,266	0	2,245,266
旅費交通費	99,449	0	99,449
通信運搬費	0	7,893	△ 7,893
ソフトウェア減価償却費	207,236	111,665	95,571
消耗品費	0	30,580	△ 30,580
印刷製本費	4,954	0	4,954
租税公課	458	113,313	△ 112,855
支払寄付金	73,500	0	73,500
業務委託費	40,571,666	60,588,000	△ 20,016,334
広告宣伝費	111,631	726,000	△ 614,369
雑費	54,393	3,020	51,373
経常費用計	75,452,037	104,651,115	△ 29,199,078
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 35,448,811	△ 23,647,740	△ 11,801,071
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 35,448,811	△ 23,647,740	△ 11,801,071
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 35,448,811	△ 23,647,740	△ 11,801,071
法人税、住民税及び事業税	70,000	58,200	11,800
当期一般正味財産増減額	△ 35,518,811	△ 23,705,940	△ 11,812,871
一般正味財産期首残高	△ 23,705,940	0	△ 23,705,940
一般正味財産期末残高	△ 59,224,751	△ 23,705,940	△ 35,518,811
II 指定正味財産増減の部			
当期基金増減額	0	400,000,000	
基金期首残高	400,000,000	0	
基金期末残高	400,000,000	400,000,000	
III 正味財産期末残高	340,775,249	376,294,060	



## 正味財産増減計算書内訳表

2022年 1月 1日から2022年 12月31日まで

一般社団法人 遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	WG 1	WG 2	WG 3	小計		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>						
<b>1. 経常増減の部</b>						
(1) 経常収益						
受取寄付金	0	0	0	0	40,000,000	40,000,000
受取寄付金					40,000,000	40,000,000
雑収益	0	0	0	0	3,226	3,226
受取利息					3,035	3,035
雑収益					191	191
経常収益計	0	0	0	0	40,003,226	40,003,226
(2) 経常費用						
事業費	5,924,539	19,622,593	5,949,052	31,496,184	0	31,496,184
委託費	5,924,539	18,756,579	187,000	24,868,118		24,868,118
旅費交通費			77,900	77,900		77,900
通信運搬費		53,922		53,922		53,922
ソフトウェア減価償却費		19,851	1,945,346	1,965,197		1,965,197
印刷製本費		105,759	10,108	115,867		115,867
広告宣伝費		686,482	3,728,408	4,414,890		4,414,890
雑費			290	290		290
管理費	0	0	0	0	43,955,853	43,955,853
役員報酬					587,300	587,300
給料手当					2,245,266	2,245,266
旅費交通費					99,449	99,449
通信運搬費					0	0
ソフトウェア減価償却費					207,236	207,236
消耗品費					0	0
印刷製本費					4,954	4,954
租税公課					458	458
支払寄付金					73,500	73,500
業務委託費					40,571,666	40,571,666
広告宣伝費					111,631	111,631
雑費					54,393	54,393
経常費用計	5,924,539	19,622,593	5,949,052	31,496,184	43,955,853	75,452,037
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,924,539	△ 19,622,593	△ 5,949,052	△ 31,496,184	△ 3,952,627	△ 35,448,811
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,924,539	△ 19,622,593	△ 5,949,052	△ 31,496,184	△ 3,952,627	△ 35,448,811
<b>2. 経常外増減の部</b>						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	67,524,539	19,933,182	20,563,760	108,021,481	△ 108,021,481	0
税引前当期一般正味財産増減額	61,600,000	310,589	14,614,708	76,525,297	△ 111,974,108	△ 35,448,811
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	61,600,000	310,589	14,614,708	76,525,297	△ 112,044,108	△ 35,518,811
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	△ 23,705,940	△ 23,705,940
一般正味財産期末残高	61,600,000	310,589	14,614,708	76,525,297	△ 135,750,048	△ 59,224,751
<b>II 指定正味財産増減の部</b>						
<b>当期基金増減額</b>	0	0	0	0	0	0
<b>基金期首残高</b>	0	0	0	0	400,000,000	400,000,000
<b>基金期末残高</b>	0	0	0	0	400,000,000	400,000,000
<b>III 正味財産期末残高</b>	61,600,000	310,589	14,614,708	76,525,297	264,249,952	340,775,249



## 財務諸表に対する注記

2022年 1月 1日から  
2022年12月31日まで

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 固定資産の減価償却方法

##### (1) 無形固定資産

法人税法の規定に基づく定額法を採用しております。

#### 2. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

#### 3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	79,642,278	2,333,644	77,308,634
合 計	79,642,278	2,333,644	77,308,634

以 上



## 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細  
記載すべき事項はありません。
2. 引当金の明細  
記載すべき事項はありません。

以 上



## 監査報告書

2023年2月8日

一般社団法人 遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム  
代表理事 秀道広 殿  
代表理事 堀内孝彦 殿

一般社団法人 遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム

監事 吉村 祥二郎 

私監事は、2022年1月1日から同年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。これにより、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項に基づき監査報告書を作成しましたので、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む）、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上